

気象予報士試験講座

2026年度 第5期生

対象:全学部

講座案内

主催:経済学部

未来の空を
読む力をあなたに

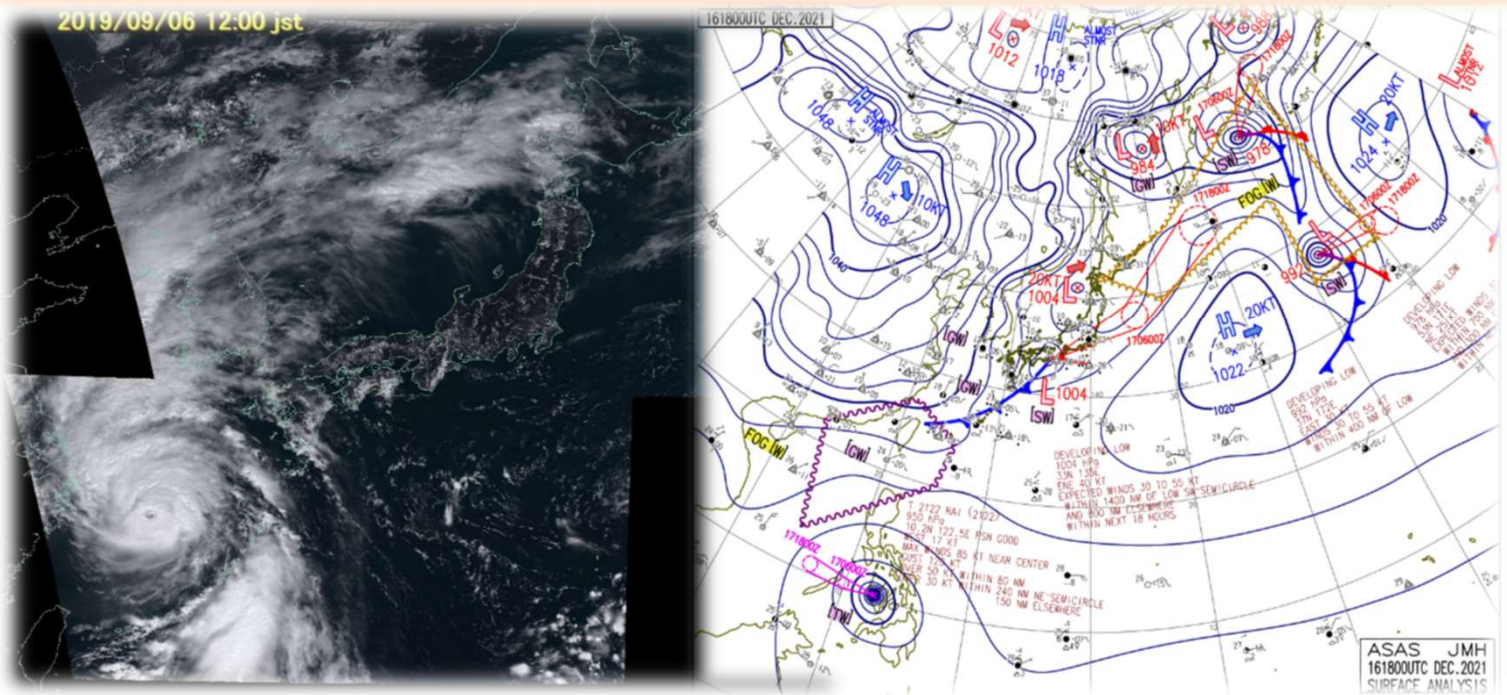
気象予報士試験講座

2026年度

講座ガイダンス(無料)のお知らせ

気象予報士 斉田季実治・佐々木恭子
来校説明会！

2026年4月2日(木) 午後1時～2時
(E-102教室)



連続テレビ小説「おかえりモネ」気象考証も担当した
斉田季実治が、100人以上の合格者を輩出した
「てんコロ」佐々木恭子とタッグを組んで進める、
難関の気象予報士試験・短期合格を目指す講座です！

合格者からのメッセージ

塩野未玖さん『就活を見据えて自分の糧に！』

私は3年生の夏から勉強を始め、4年生の夏には筆記試験2つに合格しました。面接や卒論で忙しい時期でも、Zoomのオンデマンドで復習できる講座方式だったため時間の合間を使って効率的に勉強を進めることができました。さらに、SPIに出てくる理科・時事の問題と被っているため勉強をするだけでも就活の役に立ちました。国家資格を1つ取るというのは社会に出るうえで大きな自信になります。資格取得と就活どちらも頑張りたい！という人にこそオススメです。

気象予報士試験講座の特徴

獨協大学主催の講座だから、リーズナブルな価格が実現

☆授業はweb動画オンデマンド配信があり、いつでも何度でも視聴可能！

☆講師オリジナルのテキストを用意！

☆気象予報士試験の学科一般、専門、実技まで全てを網羅したカリキュラム。

☆初めて天気や気象の勉強をする人でも安心の基礎からの内容です。

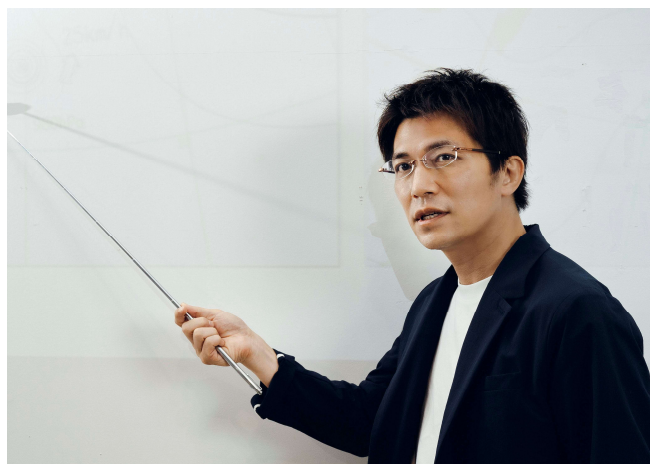
☆合格のための小手先のテクニックではなく、現象をしっかり勉強していきます。

■受講期間：2026年5月～2027年1月 ■受講料：78,000円(税込)

質問・添削等のフォローアップ含む

講師の紹介

高い合格実績をもつ、有名講師が担当



齊田季実治 (kimiharu saita)

NHK総合「ニュースウオッチ9」気象キャスター

北海道大学で海洋気象学を専攻し、在学中に気象予報士資格を取得。

気象防災アドバイザー。防災士。一級危機管理士。

星空案内人。JLA認定ライフセーバー

株式会社ヒンメル・コンサルティング代表取締役

NPO法人気象キャスターネットワーク理事

宇宙天気ユーザー協議会アウトリーチ分科会長

報道記者として、平成15年の台風第10号や十勝沖地震の被害をヘリコプターから中継するなど、悲惨な自然災害の現場を数多く取材。被害を伝えるだけでなく、未然に防ぎたいとの思いから気象の専門家の道へ。民間の気象会社で経験を積み、平成18年からNHKで気象キャスターを務める。

「ニュースウオッチ9」を担当して10年目。連続テレビ小説「おかえりモネ」気象考証を担当した。

著書に「快適に安全に暮らす気象学」(KADOKAWA)、「空を見上げてわかること 身近だけど知らない気象予報士」(PHP研究所)、「新・いのちを守る気象情報」(NHK出版新書)などがある。

・Twitter：@tenki_saita ・Himmel：https://www.tenki-saita.com/

佐々木恭子 (kyoko sasaki)

気象予報士。防災士。合同会社『てんコロ。』代表。早稲田大学第一文学部卒業後、テレビ番組制作会社入社。バラエティー番組のディレクターを経て、2007年に気象予報士の資格を取得し、民間気象会社で自治体防災向けや高速道路・国道向けの予報業務などを担当。現在は予報業務に加えて、気象予報士資格取得スクールや気象予報士のスキルアップ講座などを主催・講師を務める。



著書に『天気予報が楽しくなる空のしくみ』(朝日新聞出版)、『天気でわかる四季のくらし』(新日本出版社)など。監修に『奇跡の瞬間！空の絶景100選』(宝島社)、『NHK学ぼうBOSA I 命を守る防災の知恵 噴火・台風・竜巻・落雷 どう備えるか』(金の星社)などがある。

・YouTube：https://www.youtube.com/c/てんコロのラジオっばいTV

・Twitter：@tencorocoro ・TeamSABOTEN：https://www.team-saboten.com/

気象予報士講座カリキュラム(2026年度)

日程	時間	分野	講座内容		
5月12日(火)	17:20~19:00	一般分野	大気の鉛直構造	1	大気の鉛直構造・オゾン層
5月19日(火)	17:20~19:00		大気の状態方程式・静力学平衡	2	気体の状態方程式・静力学平衡
5月26日(火)	17:20~19:00			3	断熱変化・温位・相当温位
6月2日(火)	17:20~19:00			4	相変化・水蒸気・大気の安定度
6月9日(火)	17:20~19:00		降水過程	5	雲粒・氷晶の生成
6月16日(火)	17:20~19:00			6	十種雲形・暖かい雨・冷たい雨
6月23日(火)	17:20~19:00		大気の放射	7	太陽と地球の放射・大気による吸収・散乱
6月30日(火)	17:20~19:00			8	放射平衡温度・熱収支
7月7日(火)	17:20~19:00		大気の力学	9	気圧傾度力・コリオリ力・地衡風
7月14日(火)	17:20~19:00			10	温度風・境界層・収束・発散・渦度
7月21日(火)	17:20~19:00		大規模な大気の運動	11	現象のスケール・偏西風(ジェット気流)
8月4日(火)	17:20~19:00			12	熱輸送・傾圧不安定・高気圧・低気圧・前線
8月11日(火)	web動画受講		中・小規模の運動	13	ベナール型対流・雷雨・台風
8月18日(火)	web動画受講			14	集中豪雨・局地風
8月25日(火)	17:20~19:00		異常気象・気候変動	15	中層大気・成層圏の突然昇温
9月1日(火)	17:20~19:00			16	エルニーニョ・ラニーニャ・温暖化

9月8日(火)	17:20~19:00	専門分野	気象観測	17	観測測器・観測手法・アメダス
9月15日(火)	17:20~19:00			18	高層気象観測
9月22日(火)	web動画受講			19	レーダー観測・解析雨量・降水短時間予報・ナウキャスト
9月29日(火)	17:20~19:00			20	気象衛星観測・雲パターン
10月6日(火)	17:20~19:00		数値予報	21	数値予報モデル・数値予報プロダクト
10月13日(火)	web動画受講			22	天気図
10月20日(火)	17:20~19:00		ガイダンス・確率予報	23	ガイダンス・天気予報
10月27日(火)	17:20~19:00			24	アンサンブル予報・確率予報・長期予報
11月3日(火)	17:20~19:00		総観スケール・メソスケール現象	25	気団・前線形成過程・高気圧・低気圧
11月10日(火)	17:20~19:00			26	集中豪雨・日本海側の雪・太平洋側の雪
11月17日(火)	17:20~19:00		台風の外観・予報	27	台風の外観と予報・台風災害
11月24日(火)	17:20~19:00		精度評価	28	精度評価
12月1日(火)	17:20~19:00		気象災害	29	気象災害の種類・注警報・気象関連情報

12月8日(火)	17:20~19:00	実技分野	実技1	30	天気図の見方・基本
12月15日(火)	17:20~19:00		実技2	31	温帯低気圧
12月22日(火)	17:20~19:00		実技3	32	寒冷渦
12月29日(火)	web動画受講		実技4	33	梅雨前線
1月5日(火)	web動画受講		実技5	34	台風
1月12日(火)	17:20~19:00		実技6	35	冬型の気圧配置
1月19日(火)	17:20~19:00		実技7	36	南岸低気圧

*都合により日程・時間は変更となる場合があります。

気象予報士試験の流れ

令和8年2月1日現在

【受験資格】

受験資格の制限はありません（ただし、気象業務法による処分を受けた場合を除く）。

【試験の方法】

試験は学科試験と実技試験からなります。学科試験はマークシートによる多肢選択式、実技試験は記述式。いずれも筆記試験により行います。

学科試験の科目

- 1 予報業務に関する一般知識（60分）
 - ・大気の構造・大気の熱力学・降水過程・大気における放射・大気の力学・気象現象
 - ・気候の変動・気象業務法その他の気象業務に関する法規
- 2 予報業務に関する専門知識（60分）
 - ・観測の成果の利用・数値予報・短期予報・中期予報・長期予報・局地予報・短時間予報
 - ・気象災害・予想の精度の評価・気象の予想の応用

実技試験の科目（75分×2）

- 1 気象概況及びその変動の把握
- 2 局地的な気象の予報
- 3 台風等緊急時における対応

【合格基準】

学科試験（予報業務に関する一般知識）：15問中正解が11以上

学科試験（予報業務に関する専門知識）：15問中正解が11以上

実技試験：総得点が満点の70%以上 ※ただし、難易度により調整する場合があります

【試験地】

北海道、宮城県、東京都、大阪府、福岡県、沖縄県

【科目免除】

学科試験の全部または一部に合格された方については、申請により、合格発表日から一年以内に行われる試験において、合格した科目の試験が免除となります。

また、気象業務に関する業務経歴または資格を有する方については、申請により、学科試験の全部または一部が免除となります（詳細は試験案内を参照）。

【試験手数料】

試験手数料を学科試験の免除科目の有無に応じ、下記のとおりとします。

- ・免除科目なしの方 11,400円
- ・学科一科目が免除の方 10,400円
- ・学科二科目が免除の方 9,400円

受講案内と手続き

- 対象 全学部・全学科・全学年・卒業生
- 受講料 78,000円(消費税込) [学科一般分野・学科専門分野・実技分野]
教材費(テキスト・補足資料など)、講義WEBフォローを含みます。
補助教材として、「一般気象学」(東京大学出版会)を使用します。
各自でご用意ください。
- 申込期間 4月28日(火) 17:00まで
- 申込方法 証明書自動発行機で『納付書』を購入
『納付書』購入と同時に申込手続きが完了します。
証明書自動発行機は 東棟1階、学生センター1階にあります。
学生証が必要なのでご注意ください。
※高額のため、振り込みの際は注意してください。
- テキスト 5月12日(火)の初回授業時に配布します。
- 講義形態 学内での講義(WEB動画オンデマンド配信があり、後日の視聴は可能)。
- 本試験 本試験の受験手続きはご自身でお願いします。団体受付はありません。
- 単位認定 下記の通りです(経済学部のみ)。

気象予報士試験資格・点数	認定単位	認定科目
実技試験 合格	4単位	学科専門科目
予報業務に関する専門知識 合格	4単位	学科専門科目
予報業務に関する一般知識 合格	4単位	全学共通授業科目 全学総合科目群 講義科目部門(選択)

【問い合わせ】

獨協大学 経済学部長室

TEL : 048-946-1929

平日9:00~17:00(昼休み12:00~13:00は除く)

E-mail : deaneco@stf.dokkyo.ac.jp